

私たちが沖縄から学べること

6月23日は何の日？

沖縄が第二次世界大戦の戦場になったことは、みなさんもご存知だと思います。沖縄戦による日米両軍と民間人らを合わせた死者は約20万人とされています。

ところで、なぜ沖縄が戦場になったと思いますか？
当時、米国は日本本土を攻めこむための前進基地として沖縄に目をつけていました。これに対して、日本は米国が本土を攻めてこないよう、何としても米国を沖縄に引き留めておきたいと考えていました。こうして沖縄戦は始まったのです。

一体、どれくらいの人が戦ったのでしょうか？米軍は約55万人、日本軍は約10万人。武器の量や性能も合わせた戦力の差は米国が日本の10倍以上だったと言われています。圧倒的不利のなか沖縄では、地元の中学生や高校生を含めた多くの人たちが戦地に駆り出され、多くの命が失われました。

1945年6月23日、その悲惨な沖縄戦が終結したといわれています。

このほか日本では、自国が統治していたサイパンや満州でも地上戦がありました。しかし、これほど多くの市民が犠牲になったのは沖縄だけなのです。

テレビや新聞で基地問題が…

現在、日本の国土の約0.6%に過ぎない沖縄に、在日米軍基地の約70%が沖縄に集結しています。日本は戦後、1952年に正式に国家として全権を回復しましたが、沖縄は1972年、日本に返還されるまで、長きにわたり米国の占領下におかれていました。同じ日本で、ここまで大きな負担や犠牲をかかえてきた都市が他にあるでしょうか？

現在、沖縄基地問題について賛否両論ありますが、本当に大事なことは何だと思いますか？

私たちは、沖縄基地問題の背景にある歴史等をきちんと学び、私たち自身の問題として考えていかなければなりません。

お勧めの映画
「さとうきび畑の唄」
戦争の悲惨さと、それに負
けずに生きていく家族を
描いた映画です！



佐賀にもオスプレイが来るらしいけど！？



若い力

第 73 号

2017年 6月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515